



家庭教育だより



まごころ

No.37

平成30年8月号

編集・発行 深谷市教育委員会 生涯学習スポーツ振興課
家庭教育だより「まごころ」編集委員会
〒366-0823 深谷市本住町 17-3 TEL048-572-9581

地域と育む

思いやりの心

思いやりについて日頃から意識していますか。思いやりは、生活するうえで大切なことです。この思いやりを育むためには、家庭・地域・学校との間でコミュニケーションを取ることが大切だと言われています。相手を優しく支え、親切に触れ合うことが思いやりの心と言えます。是非、ご家庭で思いやりについて話し合ってみてください。思いやりの気持ちを持つことで、家族や地域の方との絆を更に深めてみましょう。

今号は、藤沢中学校の生徒がひとみ園、ふじさわ苑の利用者の方々とふれあう様子を紹介します。寄り添う、支え合うという中学生の心温まる活動に心を向けてみましょう。

『そうちょうさんぽ 早朝散歩』

藤沢中学校で行われている「早朝散歩」は、夏休み期間中に行われます。ひとみ園とふじさわ苑の利用者の方々と交流を通して、生徒の思いやりや優しさを育てようと30年以上続く活動です。福祉委員会に所属する生徒が中心でしたが、ボランティア活動に熱心に参加する生徒も増え昨年度は、延べ120人を超える生徒が参加しました。

①早朝散歩で支えあう思いやりの心を育む



早朝散歩は、夏休みの陽射しが強くなる前の時間帯に行っています。ひとみ園・ふじさわ苑の両施設に生徒が迎えに行き、お年寄りやお体の不自由な方、お一人に1～2名中学生が付き添います。ゆっくりと施設周辺を散歩し、途中休憩を入れながら、学校の様子や風景・思い出などの話に声を弾ませ、お互いに笑顔と心温まる時間を過ごしています。この時間を通して、様々な方と関わりふれあうことで、ともに支え合う心や思いやりの心を育みます。そして、身近なところや日々の生活の中で出来ることを考え、自発的に行動することを目指しています。

②ひとみ園の方の声



早朝散歩で外に出る機会はとても楽しみです。何より普段は外に出ると「音」が怖いと感じます。でも、生徒さんが優しく誘導してくれるので、普段感じることのできない「風の感触」をととても気持ちよく感じます。散歩をした後は、気持ちが温かくなりとても心も優しくなります。気持ちが20才若くなって戻ってきます。

普段は若い人と関わる機会が少ないので、いろいろな話をしてくれることが楽しいです。目が見えないので段差の場所を教えてください、花や建物の様子を丁寧に教えてくださいるのでとても気持ちが明るくなります。散歩が終わると、この日のことを、いつも趣味の俳句の材料にしています。

③ふじさわ苑の方の声



早朝散歩は、施設利用者の全員が参加できる貴重な行事です。利用者みなさんは、当日どんな生徒がついてくれるかを楽しみにしています。普段は施設からしか見えない公民館を中まで案内してくれたり多くの生徒さんが車いすを押してくれることを喜んでます。全員が楽しみにしている大切なイベントとなっています。

④担当先生の声



車いすの方や目の見えない方を案内する時は、手や足の位置を確認しながら車いすを操作すること、周囲の状況を教える声かけをすることがとても大切です。相手の立場に立って考え、寄り添うことが生徒の心の成長につながっています。

⑤生徒の声

施設の方たちは外に出る機会が少ないと聞いていました。車いすを押す経験がなかったので心配りしながら押すことや、目の見えない方の手を引いて案内することが私たちにとって、新鮮な経験でした。その中で会話が弾んで楽しんでくれたときは嬉しかったです。



子育てのおもいで



我が家には中学生と小学校低学年の息子がいます。小さい頃、体が弱くよく入院をした長男。体は弱かったけれど、動くことの好きな長男とはよく公園で遊びました。そんな長男は、今、小学生から始めたサッカーに夢中です。癇癩を起しては、泣いて手がつけられなかった次男。次男は絵本や紙芝居が好きで、よく二人で図書館に行きました。気がつけば自分の気持ちを話す事が上手になり、癇癩も落ち着きました。日々、心配しながらもこの息子達と過ごした時間は、今の私にとってとても幸せな時間でした。

二人も大きくなり、長男は学校、サッカー、塾と頑張っています。次男も学校、サッカーと日々、頑張っています。突然ふと思いました。私は、息子達のように何かを頑張っているのだろうか・・・息子に頑張れ、努力しなさいと言う自分はどうなのだろうか・・・私も息子に負けないように、努力しなければいけないと思いました。この二人の息子達の成長、頑張っている姿には、多くの事を学びました。これからも、どんなことがあっても、頑張れ！いつもお母さんがいるよ！と応援し続け、自分も頑張っていきたいです。

深谷西小学校 保護者



子育てQ&A

Q. 2児の母です。兄(5歳)が弟(3歳)に意地悪をし、いつもケンカになってしまいます。弟を泣かせてしまうこともあり、叱ってもあまり変化はありません。どうしたら良いのでしょうか。

A. お兄ちゃんが“意地悪をする”という行動の裏には、どんな気持ちがあるのでしょうか。小さなお子さんは自分が離せないで、お母さんとしては、つつい弟さんの方に気持ちが向いてしまうものです。けれども、お兄ちゃんにとっては、弟さんにお母さんを取られてしまったように感じ、寂しい思いをしている可能性があります。そんな時は、お兄ちゃんにたくさん声をかけたり抱きしめたりして、甘えさせてあげてください。弟さんと同じくらいお兄ちゃんのことも大切なのだと、お母さんが言葉や行動で伝えてあげると、お兄ちゃんの寂しい気持ちも満たされていきます。そうすると、意地悪も減るのではないのでしょうか。“意地悪をする”ということが、「もっと僕を見て」というお母さんへのメッセージなのかもしれませんね。

お子さんの言動のひとつひとつには、ちゃんと意味や理由があります。お子さんの言動の裏にある気持ちやメッセージを読み取ることを、日ごろから意識してみてください。

深谷市立教育研究所 学校福祉相談員

教育研究所では、お子さんの健やかな育ちを応援するため、ご家族やご本人との相談を行っています。

深谷市立教育研究所
〒366-0823
深谷市本住町12-8
TEL 048-572-9456



親子でクッキング ～朝活のための朝ごはん～



★藤沢中学校の朝活すばらしいですね！外の空気を吸い込み太陽の光を浴びると、体の中でホルモンが分泌され、気持ちよく朝を迎えることができます。そして子どもたちにとって、一番良い朝活は、歩いて登校すること！元気な朝活のための朝ごはんをご紹介します。

みそ玉→即席みそ汁

(つくりおき10回分 材料)

- ・みそ 100g
- ・乾燥わかめ 3g



- ・細切り高野豆腐 5g程度
- ・鰹節、煮干し粉など大さじ1くらい

(つくりかた)

- ① 上記の材料を混ぜあわせ、10等分ラップにくるむ。
- ② みそ玉をおわんにいれて、お湯を注げばみそ汁のできあがりです。



みそ玉の状態で保存可能
おふや乾燥野菜などアレンジしましょう

きゅうりのピリッと漬け

(給食で作る一人分量)

- ・きゅうり 30g
- ・塩 0.2g
- ・とうがらし お好み
- ・しょうゆ 1.5g
- ・酢 1.5g



(つくりかた)

- ① きゅうりは乱切りにしておきます。
- ② 混ぜ合わせた調味料を煮立てて、きゅうりにつけます。
- ③ 冷蔵庫で冷やします。きゅうり以外の野菜でもおいしく作れます。



にんじんごはん→にんじんおにぎり

(にんじんごはん2合を炊く 材料)

- ・にんじん 1本
- ・こめ 2合
- ・コンソメなど 1本または1個
- ・塩・こしょう 少々



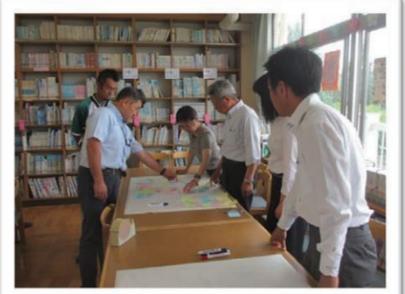
(つくりかた)

- ① 米をといで水をきる。
- ② 炊飯器にすりおろしたにんじんをいれ、2合分の自盛りまで水を入れる。
- ③ 塩・こしょう・コンソメをいれて、炊飯する。
- ④ 炊きあがったら良くまぜます。

わが園自慢

～本郷小学校～ ～本郷地区総がかりの教育～

本郷小学校は、深谷市の南西部に位置し今年度、開校130周年を迎える歴史と伝統のある学校です。日頃から、地域の皆様から様々なご支援をいただき、子どもたちは明るく元気に学校生活を送っています。



このような中、昨年度発足した「学校運営協議会」では、前会長を中心として、「本郷地区総がかりの教育」を積極的に推進してまいりました。その中で、保護者や学校関係者はもちろんのこと、全ての地域住民の皆様にアンケートをお願いし、本郷地区全体として、育てたい子ども像を導き出しました。その結果として、保護者や地域住民の皆様の願いは、「思いやりのある子」「あいさつのできる子」「元気で素直な子」であることがわかり、本郷地区子どもの育成目標を『元気なあいさつ・思いやりのある本郷の子』として共有しました。



本郷小学校では、これまでも学校応援団や各種団体の皆様から、読み聞かせや家庭科実習補助などの学習支援や樹木の剪定や畑の整備等の環境支援、登下校時の見守り活動を中心とした安心・安全支援など、様々なご支援をいただいております。今後は、新会長をはじめとした12名の学校運営協議会委員を中心に、「本郷地区総がかりの教育」を更に前進させてまいります。



しゃかいきょういくいん 社会教育委員コーナー

深谷市の社会教育委員は、学校教育やPTA、人権教育、青少年教育、社会教育の関係者、地域住民の代表者など、19名の委員で構成されており、深谷市の社会教育について調査・研究しています。市内はもとより、他の地域の活動にも幅広く目を向けながら、深谷市における社会教育活動の充実・発展に向けて協議しています。

平成28年～平成30年の2年間の活動では、「学校支援グループ」「青少年グループ」「地域コミュニティグループ」の3グループに分かれ、調査・研究に取り組み、その成果を教育委員会に提出しました。次号から各グループの取り組みを紹介していきますので是非、ご覧ください。



まごころクイズ

今号の、社会教育委員コーナーで掲載されていないグループは次のうちどれでしょうか。

- ①：学校支援 ②：家庭 ③：地域コミュニティ ④：青少年

QRコードから送信または、ハガキに『答え・〒住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見やご感想』を明記の上、平成30年9月3日(月)(消印有効)までに下記あて先へ。正解者の中から抽選で10名様にふっかちゃんグッズをプレゼントします。

あて先 〒366-0823 深谷市本住町17-3
深谷市教育委員会生涯学習スポーツ振興課「まごころ」担当へ
TEL 572-9581 アドレス syogai@city.fukaya.saitama.jp

